



# 事業概要【いわて加速器関連産業振興事業】

申請者	岩手県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	149,995千円 (21,156千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりのグローバル拠点化と新産業の創出</li> <li>加速器関連産業の振興</li> <li>県民の所得向上や質の高い雇用機会の拡大</li> <li>本県のものづくり産業全体の人材の育成と確保</li> <li>東北における加速器関連産業の世界的な拠点の形成</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>(1) 専門家によるセミナー・企業向け講習会の開催 (委託料 (謝金、旅費)) 1,116千円</p> <p>(2) コーディネーター配置による県内企業シーズ掘り起し、マッチング支援及び技術指導 (委託料 (人件費、旅費、使用料、消耗品)) 17,731千円</p> <p>(3) 性能評価機器の運用 (委託料 (物品購入費)) 1,474千円</p> <p>(4) 学会等への出席、研究機関との共同研究 (委託料 (参加費、旅費、郵送料)) 835千円</p>					 <p>企業向けの技術指導(チャレンジ部)</p>	
地域の多様な 主体の参画	産官学の組織で構成される「いわて加速器関連産業研究会」で実施する技術指導や共同研究などを通じて、先端科学技術の生産現場等への導入や県内企業の加速器関連産業への参入促進のほか、加速器の要素技術の指導等に取り組むとともに、総会などの定例打合せ等で今後の取組の方向性についての検討を行い、事業への反映に取り組む。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①加速器関連産業における新規共同開発件数 (+4件)</p> <p>②県内企業の取引支援件数 (+12件)</p> <p>③中高・高等専門学校生見学者数 (+95人)</p>


# 事業概要【北いわてプラチナシティ推進事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	10,196千円（4,183千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北いわてにおける稼げるまちの創造を図る</li> <li>・北いわてにおける更なる安全安心の実現を図る</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○北いわてにおけるバイオマス資源活用推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による企業を対象とした個別相談会等の実施（報償費）605千円、（旅費）919千円</li> <li>・バイオ炭を使用した野菜のテストマーケティングの実施（委託料）1,353千円</li> </ul> <p>○アクティブシニアが活躍する地域経済循環の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域への横展開を5つ目の専門家派遣により実施</li> </ul> <p>○公共交通利用者データを活用した公共交通の合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携によりゼロ予算で実施</li> </ul> <p>○軽度認知症判定デバイスを活用した遠隔診療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携によりゼロ予算で実施</li> </ul> <p>○北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウムや勉強会の開催、専門家による個別企業等を支援（報償費）563千円、（旅費）443千円</li> </ul>		 <p>岩手県バイオ炭活用協議会設立総会の開催</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 5つの事業に係る実証実験又は社会実装に伴う付加価値創出額（+1.34億円）</li> <li>② アクティブシニアが活躍する地域経済循環モデルの横展開地域数（+15地域）</li> <li>③ 実証実験における小規模公共交通乗車管理システムを搭載したバス台数（+210台）</li> <li>④ 実証実験において軽度認知症判定デバイスを活用した遠隔診療を受けた患者数（+27人）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制及び効果検証）  <a href="https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html">https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html</a></p>


# 事業概要【デジタル人材の育成・起業支援事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	81,536千円（22,309千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルリスキングによる企業等のDX推進の核となりうるデジタル人材の育成、地域のDXの推進</li> <li>高度なAI人材の確保・育成に向け、体系的・専門的な人材育成講座や起業促進の取組を展開するとともに、AI技術の利活用を進めるため、産学官連携による研究会を開催し、社会実証を推進</li> <li>県内の産学官金の関係団体が参画して設置した「いわてスタートアップ推進プラットフォーム」により、市町村や金融機関、産業支援機関、大学をはじめとした県内の様々な主体との連携を強化し、起業のステージやパターンに適したプログラムの提供により起業家を支援</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<ol style="list-style-type: none"> <li>デジタルリスキングプログラム（DRP）の提供 労働者（従業員）のリスキングを推進（委託料）8,470千円</li> <li>AI人材育成・社会実証推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>AI人材起業促進事業（補助金）2,000千円</li> <li>社会実証事業（謝金、使用料）462千円</li> </ul> </li> <li>起業・スタートアップ支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセラレーションプログラムの実施（委託料）3,963千円</li> <li>スタートアップ成長・海外支援（委託料）3,380千円</li> </ul> </li> </ol> <p>等</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 本事業による起業家又は起業準備者の育成人材数（+115人）</li> <li>② AI人材育成講座受講者数（+180人）</li> <li>③ 支援事業を通じた、企業等における業務効率化等を実践した人数（+77人）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制及び効果検証）  <a href="https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/107781.html">https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/107781.html</a></p>

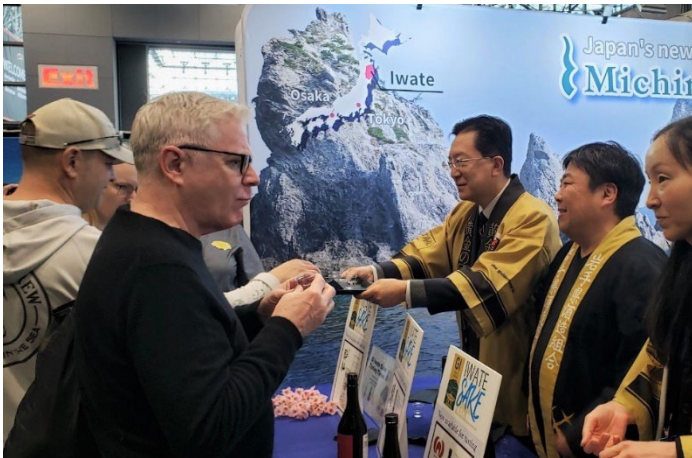
# 事業概要【DX・GXの推進による農業水産業の生産性・市場性向上事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	148,139千円 (42,210千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ駆動型農業の導入による生産性・市場性の向上</li> <li>・地球温暖化への適応や環境保全型農業の推進</li> <li>・マーケット分析に基づいた販売戦略の策定</li> <li>・生産者と連携したDX等による効率的かつ効果的な販路開拓・拡大の推進</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データ駆動型農業の普及推進体制の強化、技術の実証・開発                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術交流会等の開催（講師謝金等）248千円</li> <li>・効率的な栽培体系等の実証・開発（資材購入費等）10,052千円</li> </ul> </li> <li>○気候変動や環境保全に対応した特性を有する系統の選抜                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・品種候補の選抜、作付実証（資材購入費等）15,087千円</li> <li>・果樹凍霜害対策試験の実施（資材購入費等）1,168千円</li> </ul> </li> <li>○堆肥を有効活用した草地改良の実証、普及                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・草地改良（委託料）6,800千円</li> </ul> </li> <li>○ウコの在庫管理出荷等の新技術の周知・普及（自主財源）</li> <li>○DX販路開拓・拡大戦略に基づく事業展開や、メタバースを活用した販路開拓モデルの県内波及、デジタル人材の育成                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX販路開拓・拡大戦略の実証（委託料）6,826千円</li> <li>・メタバースによる販路開拓モデルの構築（委託料）1,546千円</li> <li>・EC講座の開催（委託料）483千円</li> </ul> </li> </ul>		 <p>メタバース空間での交流会・商談会の開催</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農業経営体一経営体当たりの農業総産出額増加額（+41万円）</li> <li>②データ駆動型農業関連技術開発数（+5件）</li> <li>③気候変動等に対応した品種候補数（+12系統）</li> <li>④在庫管理出荷等の新技術導入に取り組む漁協数（+6漁協）</li> </ul>		関連URL <a href="https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html">https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html</a>	


# 事業概要【関係人口・交流人口拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	235,327千円（72,730千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<p>・ 観光を取り巻く環境変化に的確に対応するとともに、ニューヨーク・タイムズ紙への盛岡市の掲載による効果を全県に波及させるため、各種観光データを集約・分析するシステム「いわて観光DMP」等を活用した客観的なデータに基づく戦略的な観光施策を展開する。</p> <p>・ 本県ならではの地域資源を活用して地域のにぎわいの創出を図るとともに、ECやSNS等を活用し、県内外へ本県の魅力を発信することで、いつでも、どこでも、誰もが岩手とつながることのできる社会を目指す。</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>国内外からの誘客と県内周遊促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルマーケティング・観光地域づくり支援(委託料) 25,432千円</li> <li>海外市場等を対象としたプロモーション事業費(委託料) 8,976千円</li> </ul> </li> <li>地域資源を生かした県産品等のWEB百貨店の設置               <ul style="list-style-type: none"> <li>大手ECを活用した販売促進・事業者育成等(委託料) 11,000千円</li> </ul> </li> <li>文化芸術等を通じた魅力発信               <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル配信等を通じた魅力発信(委託料) 9,999千円</li> </ul> </li> <li>海業推進モデル               <ul style="list-style-type: none"> <li>企画コンサルティング・モニターツアー実施(委託料) 9,687千円</li> </ul> </li> <li>SNS等を活用した、県民とのコミュニケーションの強化及び県内外への発信強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>LINEを利用した広報及び広聴の充実(使用料) 1,413千円 等</li> </ul> </li> </ol>			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域における観光消費額（+385.2億円）</li> <li>② WEB百貨店（仮称）に参加した事業者の商品の売上（+2.17億円）</li> <li>③ 海業モニターツアー参加人数（+40人）</li> <li>④ 岩手の魅力を発信する作品・映像等へのアクセス数（+30,829回）</li> </ol>		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制及び効果検証） <a href="https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html">https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html</a>	

# 事業概要【移住・定住・雇用応援プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	451,584千円（132,363千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・本県への将来的な地元定着やU・Iターン就職を促進するため、高校生・大学生に向けて、岩手で働く魅力・価値を発信し、早い段階から意識づける。</p> <p>・地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成、ものづくりへの進路選択や就職につなげる取組を実施し、北上川流域のものづくり産業の高度化・高付加価値化を支える人材の育成・確保を図る。</p> <p>・農業を通じた移住・定住を促進するため、県外から移住し、県内での雇用就農を希望する者に対して、農業法人等とのマッチングを行う。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>U・Iターン機能強化事業 首都圏及び県内におけるU・Iターン就職やインターンシップの相談対応（委託料等） 36,004千円</li> <li>ものづくり人材の育成・確保事業 各段階に応じた出前授業、企業見学会、ものづくり体験等の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校対象（教員・保護者含む）（謝金等） 823千円</li> <li>高校対象（教員・保護者含む）（謝金等） 13,015千円</li> </ul> </li> <li>いわて移住・雇用就農促進事業 県外からの移住、県内での雇用就農マッチング（委託料） 2,964千円</li> </ol> <p style="text-align: right;">等</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域へのU I Jターン数（+97人）</li> <li>② 本事業で実施する工場見学に参加した高校生の数（+8,700人）</li> <li>③ 本事業による、市町村・地域団体等が行う定住・交流事業の実施数（+12件）</li> <li>④ 新規就農者数（+840人）</li> </ol>		関連URL <a href="https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html">https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html</a>

# 事業概要【半導体関連人材育成推進事業】


旧制度（推進）

申請者	岩手県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,872千円（16,197千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	デバイスメーカーから製造装置メーカーまで多様な半導体関連企業が集積している本県の特徴を生かし、産学官が連携し人材の育成・確保を推進し、半導体関連企業の更なる業容拡大や集積を図り、もって、安定した雇用の創出及び所得の向上による地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	<p>○半導体製造装置を備えた人材育成施設を活用し、半導体関連企業の在職者や参入を希望する地場企業の従業員を対象とした半導体製造装置エンジニアを育成する実践的な講座の開催、大学・高専等を対象としたインターンシップや技術研修会の開催、小中高生・教員・保護者を対象とした企業見学会や出前講座の実施による次世代人材育成など、幅広い世代の半導体関連人材の育成・確保を推進（委託料：16,197千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インストラクター人件費</li> <li>・実習用消耗品</li> <li>・教材作成</li> <li>・会場使用料</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>		<p style="text-align: center;">産学官が連携し人材を育成</p> <p style="text-align: center;">半導体製造装置 エンジニア育成</p> <p style="text-align: center;">次世代 人材育成</p> <p style="text-align: center;">ものづくり 情報発信</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">持続的な人材の育成・確保による企業の業容拡大と集積</p>
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域における新規雇用者数（+500人）</li> <li>② 半導体関連産業の製造品出荷額（+500億円）</li> <li>③ 県内大学等卒業者の県内就職率（+1.5%）</li> <li>④ 人材育成施設で実施する社会人向け講座の受講者数（+250人）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制及び効果検証）  <a href="https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html">https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1077761/1077881.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費


※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【若者から選ばれる企業への転換推進事業】

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	74,562千円 (25,435千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業が、若者・女性から選ばれる企業になるとともに、生産性・収益性の向上により末永く事業継続できるよう、経営体質強化や企業としての魅力の向上・発信に、不断に取り組むことができるよう支援</li> <li>県内企業における、省人化・省力化、高付加価値化、誰もが自己実現や多様な働き方ができる職場環境の構築などに取り組み、労働生産性・労働環境・賃金を一体的に改善し、併せて、県内企業ひいては本県で働き暮らすことの魅力を発信することで、企業イメージや働く場としての本県のイメージの向上、個々の企業の採用力強化などに繋げ、若者・女性から選ばれる岩手を実現</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○若者・女性に選ばれる企業への変革 ～生産性向上、労働環境の改善と多様な働き方の実現～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生と連携した企業課題の解決支援（謝金等）502千円</li> <li>・企業課題解決に向けた人材育成（委託料）9,044千円</li> <li>・中小企業デジタル化支援（補助金）5,296千円</li> </ul> <p>○若者・女性に選ばれる産業集積エリアの形成と魅力の発信 ～都会と地方のアンコンシャス・バイアスの払拭～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上川流域(北上川バレーエリア)の情報発信（委託料）2,184千円</li> <li>・地場産業(縫製業・漆産業)の振興とその未来を担う人材の育成（委託料等）5,982千円</li> <li>・若者に対する県内産業集積の魅力や県内企業への理解促進（委託料）2,427千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>【主な内容】</p> <p>産官学金労等の組織で構成する「いわてで働こう推進協議会」において、各分野の立場から事業の立案に関する意見を聴取するとともに、事業実施後は、本事業の進捗状況を共有のうえ、改善点を明確化し、事業への反映に取り組む。</p> <p>各団体の構成企業等に対して取組を周知し、参画・協力を呼びかけてもらうほか、大卒者等の本県企業への就職促進に資する取組を行う。</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①県内大学等卒業者の県内就職率（+1.8%）</li> <li>②「企業課題解決に向けた人材育成」により社員受入れを実施した企業数（+6件）</li> <li>③「中小企業デジタル化支援」によりデジタル化支援専門家派遣の支援を受けた企業数（+12件）</li> <li>④「県内産業集積の魅力や県内企業に対する若者の理解の促進」に資する取組に参加した学生の数（+400人）</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【地域資源を生かした稼ぐ観光推進体制構築事業】

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	205,672千円 (58,339千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の多種多様な観光コンテンツや特色ある伝統工芸品・食品などの地域資源を最大限に生かし、岩手ファンや多様な形で岩手県と継続的に関わる人々を国内外で拡大</li> <li>観光誘客促進による観光消費拡大や、岩手ファンの拡大による県産品の消費拡大等により、県内の広範な産業に経済波及効果をもたらされるよう、稼ぐ観光地域づくりを推進</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○三陸地域における受入体制整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくりのための総合的なコーディネートの実施（負担金）8,924千円</li> <li>・新たなビジネスモデルの構築に向けた調査研究（負担金）7,547千円</li> <li>・三陸ジオパーク活動の推進（負担金等）9,316千円</li> <li>・みちのく潮風トレイルの受入体制強化（委託料）9,907千円</li> </ul> </li> <li>○農山漁村におけるグリーン・ツーリズム受入体制整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携による教育旅行等受入体制の整備（委託料）2,537千円</li> <li>・農山漁村のコミュニティの活力維持（報償費等）1,100千円</li> </ul> </li> <li>○観光産業の担い手確保の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の若者と県内観光関係事業者のマッチング等（委託料）3,250千円</li> <li>・本県の観光や観光業の魅力発信（委託料）2,156千円</li> </ul> </li> <li>○観光消費額の拡大に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド消費拡大の推進（委託料等）6,104千円</li> <li>・クルーズ船の誘致・受入体制整備（委託料等）7,498千円</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>【主な内容】</p> <p>三陸DMOセンターにおいて、観光地域づくりのための総合的なコーディネート等を行い、県内市町村や県内観光関係事業者は受入体制の強化や情報発信、コンテンツのブラッシュアップ等を行う。</p> <p>三陸ジオパーク推進協議会や各地域のグリーン・ツーリズム推進協議会など意見交換の場を通して、各主体の意見を聴取し、事業への反映に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①県内の観光消費額（+320.1億円）</li> <li>②三陸ジオパークの主要サイトの観光入込客数（+7.5万人）</li> <li>③クルーズ船寄港回数（+9回）</li> <li>④農林漁家民泊等利用者数（+3,000人回）</li> <li>⑤観光業就業体験プログラム参加者数（+40人回）</li> <li>⑥農山漁村における移動支援地区及び地域の賑わい再生支援地区数（+5地区）</li> </ul>

# 事業概要【若者から選ばれる地域づくり推進事業】

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	168,467千円 (51,971千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>先人や岩手出身の著名人、文化を活用したプロモーションや高校と連携した取組、また複業や、帰省を契機としたプロモーションを行い、若者の地域に対する愛着の醸成を図る。</li> <li>若者活動交流拠点を核とした若者活躍支援体制の構築、県内外の若者を対象にした若者交流イベントの開催、若者の活動に対する資金面及び人的支援を行い、若者が活躍できる環境づくりを目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○先人や岩手出身の著名人、文化を活用したプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県人の活躍を称えるパネルを作成し、全小学校へ配付（委託料）1,045千円</li> <li>県出身者等著作の岩手県150年のあゆみを表現するイラスト制作し、プロモーション展開（委託料）1,059千円</li> </ul> <p>○Uターン等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県外在住の帰省者を対象に帰省の玄関口（県内主要駅等）での情報発信（委託料）2,071千円</li> </ul> <p>○若者が活躍できる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いわて若者カフェ（県が設置・運営している若者活動交流拠点）を核とした若者活躍支援体制の構築（委託料）7,232千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>【主な内容】</p> <p>地域団体において、首都圏の若者等と県内企業や団体のマッチングをコーディネートするほか、民間若者団体と連携し、若者の交流・相談体制を構築する。また、市町村やNPO団体等と連携し、地域と高校の協働体制を構築する。</p> <p>定例ミーティング等の場を通して、各主体の意見を聴取し、事業への反映に取り組む。</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 高卒者の県内就職率（+13%）</li> <li>② 地域への愛着を感じている割合（18歳～30歳代）（+8.28%）</li> <li>③ 「自分の住む地域には良いところがあると思う」と回答した割合（+9%）</li> <li>④ 移住定住ポータルサイト公式Xのフォロワー数（+900フォロワー）</li> <li>⑤ 事業を通じて成立した複業等のマッチング件数（+75件）</li> <li>⑥ 若者活動交流ポータルサイト新規団体登録者数（+21団体）</li> </ol>



# 事業概要【気候変動等に適応した持続可能な農業・水産業推進事業】

申請者	岩手県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	118,446千円 (50,396千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の夏期の高温等に適応した米の新品種開発により、地球温暖化が更に進行する環境下でも安定した品質を維持し、付加価値の高い米の生産と生産量の増大による輸出の拡大など、国内外から評価される米産地づくりを目指す。</li> <li>地域の気象条件に応じた収益力の高い園芸作物の産地形成により、野菜の生産拡大やブランド化を進め、雇用の創出を図る。</li> <li>高水温等に強い県産サーモンの安定生産体制とサプライチェーンの構築により、「定質、定量、定価格、定時」生産を行う、マーケットイン型養殖への転換を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○二期作が可能な沖縄県との連携による夏期の高温等に適応した県オリジナル水稲新品種の早期開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県での系統選抜、試験等経費（委託料）2,500千円</li> <li>・施設整備（工事費）32,642千円</li> </ul> </li> <li>○沿岸地域への大規模施設園芸企業誘致に向けた推進体制整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進組織設立及びセミナー開催経費（報償費等）352千円</li> <li>・モデル市町村が参画するコンソーシアム県負担金 2,508千円</li> </ul> </li> <li>○スマート農業技術等高収益園芸作物生産拡大モデル実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証事業経費（委託料）8,204千円</li> </ul> </li> <li>○高収益園芸作物への作付転換の加速化を図る研修会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等開催経費（報償費、会場使用料等）1,128千円</li> </ul> </li> <li>○高水温耐性養殖サーモン種苗の開発・効率的生産体制構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種苗開発等経費（飼料代、ICT機器購入費等）3,062千円</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>				 <p>高温耐性を持つ米の新品種開発に必要な検定施設 (完成後のイメージ)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>【主な内容】</p> <p>JA等の農業関係団体などで構成する「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」において、新品種のブランド化を図るとともに、水産業関係団体は県が開発した新たな種苗の利用や海面養殖業者への供給等による有効利用促進に取り組む。また、沖縄県と連携し、新品種の開発期間の短縮に取り組む。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農業経営体一経営体当たりの農業総産出額（+42万円）</li> <li>②高温登熟耐性を持つ品種・系統の育成数（+10品種・系統）</li> <li>③加工・業務用野菜の出荷量（+750トン）</li> <li>④サケ・マス類の海面養殖の生産量（+600トン）</li> </ul>

# 事業概要【新たな人の流れの創出に向けた多様な人材確保支援事業】

申請者	岩手県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	121,888千円 (42,715千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の本県農林水産業を支えていく新規就業者の確保に向け、遠隔地からでも参加しやすいメタバースを活用した就業相談体制の構築や、担い手への住居確保支援の取組を組み合わせることで実施することにより、移住・定住を希望する若者等の負担軽減を支援し、人口減少下における新たな人の流れの創出を加速する。</li> <li>短期雇用人材や外国人材等の多様な担い手の確保に向け、労働力マッチングアプリ等の活用や受入体制の整備を図る。</li> <li>スマート農業技術を活用した省力化の実証により、生産コストの低減を図るとともに、専門的な知識や経験がない人材でも作業ができる働き方改革を推進し、若者・女性にも選ばれる働きやすい産業として発展することを目指す。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メタバースを活用した就業相談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催経費（委託料、会場使用料）2,662千円</li> </ul> </li> <li>○農林水産業への就業を志す若者等を対象とした住居確保の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居貸出に係る管理経費（委託料）26,920千円</li> </ul> </li> <li>○リモート就農体験ツアーの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催経費（委託料、会場使用料）1,728千円</li> </ul> </li> <li>○労働力マッチングアプリの活用等による副業や学生など多様な人材が短期で農業に従事しやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、相談活動等経費（報償費、委託料等）4,213千円</li> </ul> </li> <li>○外国人材活用に向けた理解の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、動画作成経費（報償費、委託料等）2,044千円</li> </ul> </li> <li>○スマート農業技術等を活用した実証の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証事業経費（委託料）5,148千円</li> </ul> </li> </ul>				 <p>労働力マッチングアプリを活用した人材確保のイメージ 出典: 農林水産省ウェブサイト (<a href="https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r3/r3_h/trend/part1/zoom/zoo_m_017.html">https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r3/r3_h/trend/part1/zoom/zoo_m_017.html</a>)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>【主な内容】</p> <p>メタバースを活用した就業相談会の実施にあたり、農林水産業関係団体が主体的に関わり、就業相談対応や相談者のフォローアップ等を行う。また、公共牧場を所有している市町村と連携して、スマート農業技術の実証に取り組む。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農林水産業における新規就業者数 (+1,320人)</li> <li>②就業相談会参加者数 (+150人)</li> <li>③モデル地区におけるアプリ活用による短期雇用人材の確保数 (+3,000人)</li> <li>④省力化に対応した実証件数 (+6件)</li> <li>⑤居住体験による移住者数 (+105人)</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【地場産業の高付加価値・販路開拓推進事業】

申請者	岩手県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	84,729千円 (28,243千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>本県の輸出重点品目である加工食品や伝統工芸品等の高付加価値化や海外販路の開拓・拡大を図るため、消費者ニーズの変化や流行トレンドに対応した商品開発や海外へのプロモーション及び県内事業者の海外マーケットへの展開を支援することで、人口減少下における地域資源を生かした産業の振興（地方経済の活性化）を目指すもの。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食品産業の高付加価値化（新商品開発）に向けた取組</li> <li>・食産業振興プラットフォームを活用したBtoBのマッチング支援等の実施（委託料等）2,069千円</li> <li>・アドバイザーによる付加価値の高い商品開発・加工・販売までの総合的な支援（報償費等）553千円</li> <li>○加工食品、工芸品等の輸出推進に向けた取組</li> <li>・県産品トップセールス及び県産品フェア等開催（委託料等）22,358千円</li> <li>・東南アジア等バイヤー招へい（委託料等）3,263千円</li> </ul>					<p>食産業の高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者同士のマッチング支援</li> <li>・商品開発等に係る支援</li> </ul> <p>（公財）いわて産業振興センター</p> <p>加工食品、工芸品等の輸出促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップセールス、県産品等フェア</li> <li>・東南アジア等バイヤー招聘</li> </ul> <p>いわて海外展開支援コンソーシアム</p> <p>地域資源を生かした産業の振興 （地方経済の活性化）</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>【主な内容】</p> <p>（公財）いわて産業振興センターと連携し、本県の基幹産業である農商工の産業間の連携を推進する。</p> <p>産官金等の組織で構成する「いわて海外展開支援コンソーシアム」において、各分野の立場から事業の立案に関する意見を聴取するとともに、事業実施後は、本事業の進捗状況を共有のうえ、改善点を明確化し、事業への反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 県産品輸出額（加工食品・工芸品）（+1.2億円）</li> <li>② 食産業事業者の商品開発等ビジネス支援件数（+3件）</li> <li>③ 海外商談会における出展企業数（+150者）</li> <li>④ 海外商談会等における商談成約等件数（+75件）</li> </ul>

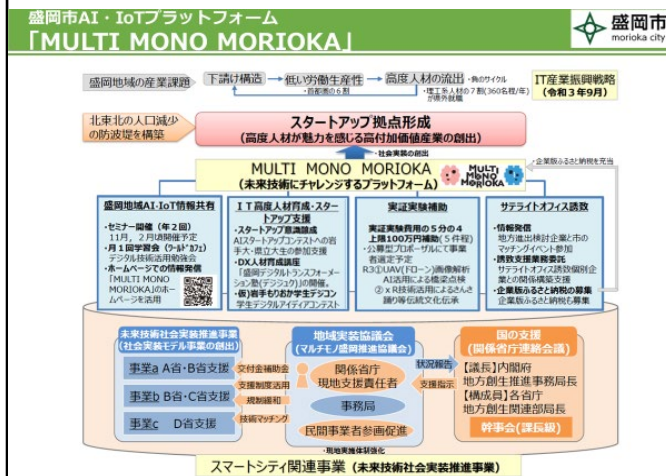
※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【盛岡AI・IoTプラットフォーム事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県盛岡市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	73,000千円（16,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・高度IT人材が魅力を感じる高付加価値の雇用の場を創出し、高度IT人材の流出を防ぐ。		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>デジタル技術活用に関するセミナーや実証実験支援等を行うプラットフォームを設置し、IT企業と製造業等の異業種間交流と新技術・新サービス創出を促進することで、産業の高度化、IT関連企業の集積及び若者の地元定着につなげます。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○盛岡広域のAI・IoT等に関する取組情報の一元化</li> <li>・セミナー等開催費用(委託料) 1,000千円</li> <li>・情報集約発信・ホームページ開設運営費用(委託料) 2,000千円</li> <li>○研究開発型企業の実証実験の支援</li> <li>・実証実験に対する補助(補助金) 4,000千円</li> <li>・コーディネーターによる連携支援費用(委託料) 500千円</li> <li>○IT高度人材のスタートアップ支援（ノウハウの構築）</li> <li>・短期集中型プログラミング講座9,050千円</li> <li>・デジタルコンテスト400千円</li> <li>○サテライトオフィス立地促進</li> <li>・首都圏企業と当市のマッチングイベント出展及び誘致支援 1,600千円</li> </ul>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地元高等教育機関卒業生の県内就職者数(起業者を含む) (+50人)</p> <p>②プラットフォーム参加登録企業数 (+140社)</p> <p>③参加登録企業による実証実験の実施件数 (+23件)</p> <p>④IT高度人材によるスタートアップ企業の起業数 (+10社)</p>		




関連URL

<https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sogotekiplan/1009760/1045034/1051241.html>




# 事業概要【盛岡スタートアップ成長加速支援事業】

申請者	岩手県盛岡市				初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,000千円 (6,000千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・地域のスタートアップの創出・集積を推進し、域内での起業・就業により若者を始めとした労働人口の流出を抑止する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域を先導するスタートアップをロールモデルとして市が認定し、広く発信することで起業家の社会的評価の向上を図る。また、スタートアップに対して起業経験者、外部専門家等と連携したメンタリングやセミナーを開催し、事業の成長の加速化とコミュニティ形成を促す。</p> <p>【ソフト事業経費】 ロールモデル・スタートアップ認定事業 ・ロールモデル・スタートアップ掘り起し調査（委託料）500千円 ・認定企業の募集、審査、認定（委託料）1,000千円 ・ウェブサイト運営等情報発信（委託料）1,000千円</p> <p>スタートアップ・コミュニティ形成事業 ・セミナー開催（委託料）1,000千円 ・メンタリング個別経営指導・フォローアップ（委託料）1,500千円 ・ピッチイベント等開催による資金調達・交流支援・上場支援ニーズ調査（委託料）1,000千円</p>				<p><b>盛岡スタートアップ成長加速支援事業イメージ</b></p>		
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>大手通信企業や金融機関等の地域企業との協業により、新規事業創出や資金提供、販路拡大に繋げる。県の北上川バレープロジェクト構想に基づき、広域自治体と連携し、スタートアップが有するデジタル技術の高度化と事業構築・運営に協力し、企業とのマッチング機会を提供する。大学においては、スタートアップと連携した実証実験や新技術開発、教育プログラムの提供により、学生起業や地域定着を促進する。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における新規雇用者数（+5人） ②コミュニティ参加者による起業件数（+2件） ③コミュニティ参加スタートアップによる資金調達件数（+5件） ④コミュニティ参加者数（+30者）</p>	

# 事業概要【花巻市多文化共生のまちづくり事業】

申請者	岩手県花巻市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	14,321千円 (4,978千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人市民数の増加や多国籍化が進んでいるものの、多文化共生への理解度の低さが課題となっているため、本事業の実施により、国籍等に関わらず「誰もが暮らしやすいまち」を目指す。</li> <li>・外国人市民も地域住民の一人として地域に交わり、国籍等に関わらず「住民が集い、賑わうまち」を目指す。</li> <li>・これらの実現により、当市の人口減少への対策も期待される。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多文化共生推進事業を行うために雇用する外国人材の人件費 3,878千円</li> <li>○雇用する外国人材の視点で選定した多言語等による情報発信用筆耕翻訳料 500千円</li> <li>○多文化共生の推進のための外国人市民の支援事業（日本語教室や生活講座等）拡充分 600千円</li> </ul>					 <p>← 外国人材が投稿したSNSの抜粋。グラフィックデザインツールを活用し、やさしい日本語と英語で外国人市民を対象とした生活講座の開催をお知らせしたもの(R5事業)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>花巻国際交流協会が、国際フェアや生活講座など多文化共生推進事業の企画・実施、市が共催者として支援等を行うほか、協会が受け付けた外国人相談等を市関係部署へ繋ぐなど、市と協会が協働・連携して事業実施する。また、外国人留学生が在籍している大学の協力のもと、意見を吸い上げ事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①まちづくり市民アンケートにおいて、「多文化共生」という言葉を知っているし、言葉の意味も理解している人の割合（当該年度目標値40%）</li> <li>②外国人市民と地域住民等の交流会等への参加者数（当該年度目標値70人）</li> <li>③留学生等の地元企業等への就職数（当該年度目標値2人）</li> </ul>

# 事業概要【女子野球で未来を創る地域活性化プロジェクト】


申請者	岩手県花巻市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	574,421千円 (13,058千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子野球タウンとして女子野球の普及振興を行うことで、相乗効果的に野球人口が増加し、「野球のまち」としての魅力向上を図る。</li> <li>また、メイン球場のトイレやロッカー整備により、男女問わず使いやすい球場とすることで利用促進を図り、野球をきっかけとした交流人口が増えることで、地域活性化を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「女子硬式野球イーハートブはなまき大会」の開催支援と、応援企業によるコラボレーション商品の企画開発</li> <li>女子野球日本代表を講師とした少年少女野球教室の開催や交流戦の開催</li> <li>メイン球場である花巻球場のトイレ改修や選手控室等の工事実施設計</li> </ul> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女子野球大会の開催支援に関する事業 421千円</li> <li>技術の普及推進と野球人口拡大に関する事業 878千円</li> </ul> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内野トイレ等工事実施設計 5,346千円</li> <li>選手控室等工事実施設計 6,413千円</li> </ul>					  <p>花巻市は女子野球を応援しています！</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会応援企業において、大会の開催・運営だけでなく、市とのコラボレーション商品の企画開発を行い普及活動の一部も担う。</li> <li>市内の高校野球部においては、選手としてだけでなく、市と連携し、野球教室の運営補助等を行う。</li> <li>大会運営や各種普及事業を実施した際の意見について、大会応援企業、市内球場の指定管理者や市内の高校野球部から、随時聴取し事業への反映に取り組む。</li> </ul>					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①大規模スポーツ大会やイベントの入込者数 (+7.4万人)</li> <li>②スポーツ教室等(市関連事業)の参加率 (+9.2%)</li> <li>③花巻球場の利用人数 (+6,280人)</li> <li>④小中学生の野球人口 (+9人)</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【市立公園展勝地を活用した魅力向上事業】

申請者	岩手県北上市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	85,464千円 (32,648千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>・みちのく三大桜名所として知られる市立公園展勝地桜並木という観光資源のさらなる魅力向上に取り組むと共に、岩手県と株式会社ポケモンの連携協定に基づく取り組みの一環として株式会社ポケモンから寄贈された公園遊具等を活用したシティブロモーション事業を共同で実施する。これらの事業を一体的に実施することで、北上市への観光客を増加させ、市民のまちに対する愛着や誇りの醸成、市民自らがまちの魅力を発信することによるさらなる地名度の向上、関係人口の拡大に繋がるため、地方創生に資するもの。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 桜並木の樹勢を調査することにより、桜並木の維持に必要な対策の検討を行う。また、桜の専門家（樹木医）を招き専門的な知見をもらいながら、桜並木の健全育成に取り組むほか、桜並木が健全に成長するよう土壌改良・腐朽処理・不定根誘導等を含めた延命化対策としての植栽環境整備を行う。また、関係人口・交流人口の拡大に向けイベントを開催する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹勢調査業務委託 4,408千円</li> <li>・樹木管理アドバイザー謝金 69千円</li> <li>・選定講習会・施肥講習会イベント委託料 552千円</li> <li>・シティブロモーションイベント委託料 1,000千円</li> </ul> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜並木が健全に成長するよう桜並木の土壌改良、不定根誘導を行う。</li> <li>・用地造成 26,619千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>樹木医から桜を長生きさせる施策・維持管理の方法の指導・市民への講演を行っていただくほか、地域新聞社に対してはタイムリーな情報提供を求め、市民から感想や意見を頂き、桜並木の持続的な価値向上事業へ反映していく。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①年間観光客数（+694,500人）</p> <p>②市民意識調査における「北上市に愛着や誇りを感じていますか」の問いに対する「とても感じる」「やや感じる」と回答した人の割合（+17.4%）</p>

# 事業概要【ふるさと自然体験による企業へのウェルネスサポート事業】

申請者	岩手県久慈市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,250千円 (11,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市の自然資源を活かした「健康増進に効果のある自然体験プログラム」を企業向けに新開発し、市内外の多くの企業に参加してもらうことにより、当市の関係人口拡大を目指す。</li> <li>・体験プログラムの提供と同時に、参加企業の健康経営優良法人認定へ向けた支援を行うことにより、当地域の企業の魅力度向上を図り、若者のUターン増加を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 関係人口の確保に向け、当市で従来から確立されている自然資源を生かした体験プログラムを企業向けに新開発し、広報活動及び受け入れ体制の整備を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プログラムの立案と構築</li> <li>○企業への宣伝と提案</li> <li>・企業向け自然体験旅行企画立案、受入体制構築（補助金）9,500千円</li> <li>・企業向け自然体験旅行PR（役務費）330千円</li> <li>○企業向け自然体験の実施</li> <li>・自然体験インストラクター（報酬・手当）203千円</li> <li>・企業向け自然体験旅行事務経費（消耗品・燃料費・印刷製本費）（需用費）450千円</li> <li>・企業向け自然体験旅行受入地区開発（委託費）517千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>ふるさと体験学習協会、商工会議所、連携協定締結企業が事業実施の核となり、受け入れ体制構築、PR、旅行者との調整等を行う。また、管内事業者に向けた事業周知、企業への健康経営優良法人認定へ向けた支援を実施する。</p> <p>県、市内金融機関から事業実施に向けたアドバイスを受け、事業に反映する。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①久慈市へのUIターン数（+5人）</li> <li>②自然体験プログラム活用企業・事務所（+20件）</li> <li>③自然体験プログラム活用人数（企業・一般団体・個人）（+500人）</li> <li>④市内における「いわて健康経営認定事業所」新規登録数（+3件）</li> </ul>

# 事業概要【地域産品ブランディング事業】

申請者	岩手県久慈市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,386千円 (7,086千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・首都圏での地域産品販売イベント等の実施により、久慈産品の認知度向上及び購買動向等の調査・分析を行い、市内事業者へフィードバックすることにより、魅力的な特産品の開発と商品販売力強化、地域産品の販路拡大を図り、地域ブランド化の実現とそれによる地域経済活性化を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 地域ブランド化の実現に向け、当市を代表する看板商品のPR・拡販、久慈市産品全体の商品力の強化、地域内外に広く支持される商品開発を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○地域産品ブランディング事業 ・地域産品ブランディング事業委託（委託料）5,736千円 ・事業者研修会場借り上げ料（使用料・賃貸料）300千円 ・事業用消耗品（需用費）50千円</p> <p>○商品開発・商品力向上 ・商品開発・商品力向上業務補助（補助金）1,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地元企業への協力依頼、各種調整を中心に、事業全体を通して、商工会議所、観光物産協会と連携を図る。 関係大学からの意見を反映しながら新商品の開発を目指す。 県から地域ブランド力向上に向けたアドバイスを受け、事業に反映する。 地元FMラジオを通して、新商品のPRや各種情報発信を行う。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<p>①観光客入込数（+78万人） ②地域産品販売イベント来場者数（+8千人） ③市内事業者商品開発・リニューアル件数（+15件） ④研修会参加事業者数（+20社） ⑤ふるさと納税寄附額（+2億4,700万円）</p>

# 事業概要【スポーツツーリズム拠点整備推進事業】


申請者	岩手県遠野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	949,767千円 (135,684千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠野運動公園をスポーツツーリズムの推進拠点として整備し、スポーツ大会やスポーツ合宿に加え、コンベンション等多様な利活用を通じ新たな産業創出を創り出すとともに波及効果を活かしたまちづくりを目指す。</li> <li>整備に合わせてスポーツコミッション推進する体制を構築し、スポーツツーリズムに加え、観光分野の課題解決を図り、地域経済の活性化を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域活性化に向けて、スポーツ大会の開催やスポーツ合宿の実施に加え、コンベンションやコンサート等の多様な利活用を通じ、新たな産業集積を創り出し、スポーツの波及効果を活かしたまちづくりを推進するため、遠野運動公園をスポーツ拠点施設として整備する。また、施設内にスポーツコミッション推進組織を設置し、観光関係団体等と連携してスポーツツーリズムを推進する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 遠野運動公園陸上競技場の全天候化、多目的運動広場の全面芝生化、野球場の改修設計 135,684千円</p> <p>※ソフト事業としてスポーツツーリズム推進体制の整備とスポーツツーリズムに向けた機運醸成イベントを、令和8年度から実施する予定。</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>スポーツ合宿やスポーツイベントの誘致等のスポーツツーリズムを推進するため、観光地域づくりを推進する団体やスポーツを振興する団体、指定管理者等と連携し、地域経済の活性化に向けて連携した取組に当たる。ケーブルテレビ局と連携し、「みる」スポーツの推進に向けたコンテンツ制作やイベントの動画配信を行い、スポーツイベントの誘致を進める。</p>					KPI	<p>①施設利用者の観光消費額 (+2億7千万円)</p> <p>②施設利用者数 (+3万2千人)</p> <p>③スポーツ大会及び合宿開催数 (+136件)</p> <p>④スポーツ大会及び合宿市内宿泊者数 (+1万8百人)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【遠野サステナブルビジョン2030の実現に向けたイノベーション促進事業】

申請者	岩手県遠野市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	175,000千円 (17,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少下でも持続可能な地域経済の成長を実現するため、官民協働による「遠野SDGs官民共創ネットワーク」を構築し、GX推進組織やDMO等が連携した「遠野サステナブルプロジェクト」を創出する。</li> <li>地域課題解決型電力メニューや持続可能な観光事業により得られる利益を地域の課題解決に還元する仕組みを確立し、分野横断的な相乗効果を生み出す。</li> <li>市民の地域課題への関心向上と若者の地域参画促進により、民間アイデア・資金を活用した自律的な地域課題解決体制を構築し、経済・社会・環境の統合的発展を図る。</li> </ul>						
事業概要・主な経費	<p><b>【事業概要】</b> 官民共創・協働で持続可能な地域の発展を目指すため、次の①から③までに掲げる事業を展開し、地域の魅力向上を推進する。</p> <p>①GX推進組織を設立し、先行事例調査や事業リスク分析を通じてサステナブルプロジェクトを創出する。</p> <p>②既存DMOと連携したサステナブルツーリズムを構築し、全体コンセプト策定、事業計画案の作成、先行事例視察等を実施する。また、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等の寄附の拡大等を図ることや、関係人口拡大に関する施策を検討する。</p> <p>③観光施設リブランディングのためのサウンディング型市場調査を実施する。</p> <p><b>【上記の事業に係る主なソフト事業経費】</b></p> <p>① 9,000千円（委託料）</p> <p>② 6,000千円（委託料）</p> <p>③ 2,000千円（委託料）</p>					<p><b>（遠野サステナブルビジョン2030）の実現</b></p>	
地域の多様な主体の参画	<p>「遠野サステナブルプロジェクト」の創出に向けて、地域課題解決に貢献する様々なプロジェクトに民間のアイデアやノウハウを活用できるような仕組みとするため、「遠野市SDGs官民共創ネットワーク」を構築し、市内外のステークホルダーとの連携を強化する。</p>					<p><b>KPI</b> (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①市内エネルギー自給率（+18%）</p> <p>②観光消費額（一人当たり）（+1,300円）</p> <p>③官民共創プロジェクト参加事業者数（+60社）</p> <p>④遠野に住み続けたいと思う市民の割合（+0.6%）</p> <p>⑤若年層（20～39歳）の社会増減（+30人）</p> <p>⑥市域からの二酸化炭素排出量（-5.8万トン-CO2）</p>


# 事業概要【自伐型林業者育成事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県一関市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,360千円（8,795千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業の新たな担い手として、身近な地域の森林を自ら手入れする自伐型林業者を育成する。</li> <li>・経済面及び環境面で持続可能な自伐型林業により、適正な森林整備を進め、森林の経済的価値の向上や森林の持つ公益的機能の発揮を図る。</li> <li>・中山間地域において、林業と副業によるなりわいづくりを創出する。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自伐型林業の施業（チェーンソー取扱、伐倒造材、集材搬出、作業道開設）を体験する研修の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 2,840千円</li> </ul> </li> <li>○就業に向けた技術定着を図るための施業実践研修の実施及び展示林の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 4,468千円</li> </ul> </li> <li>○施業林調査や施業に向けての伴走支援など               <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 1,056千円</li> </ul> </li> <li>○事業3か年の振り返りとさらなる普及促進のための自伐型林業活動報告会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 431千円</li> </ul> </li> </ul>		 <p>自伐型林業体験研修での伐倒体験</p>	
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多間伐施業による間伐実施面積（+14ha）</li> <li>②自伐型林業による就業者数（+6人）</li> <li>③施業研修の受講者数（+9人）</li> </ul>		関連URL  （交付金の具体的使途・実施体制） <a href="https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,150900,243,793,html">https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,150900,243,793,html</a> （効果検証） <a href="https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,174930,102,html">https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,174930,102,html</a>	

# 事業概要【釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業】


旧制度（推進）

申請者	岩手県釜石市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	45,000千円（15,000千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学をはじめとする、高等教育機関との連携を図りながら、市全体が学びとなる場を構築し、様々な学びの場を創出することで、当市の未来を担う人材の育成や、あらゆるライフステージに応じた学びの場の提供に加え、地域外の大学生や社会人を呼び込むことで、新たなつながりを創出し、持続的な交流人口の増加を図る。</li> <li>・デジタル技術を活用しながら当市を繰り返し訪れる仕組みを構築し、将来的な移住定住につなげていく。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 市全体が「学び」の場となる「オープン・フィールド・カレッジ」を構築し、様々な学びや体験を通じて、当市でしか味わうことができない「学び」のコンテンツを提供し、交流人口の増加を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○釜石オープン・フィールド・カレッジ運営体制強化事業 1,000千円</li> <li>・運営体制強化委託料 1,000千円</li> <li>○持続可能な地域づくりに関するモニタリング事業 2,500千円</li> <li>・持続可能な地域づくりモニタリング委託料 2,500千円</li> <li>○フィールドスタディプログラム造成事業 6,000千円</li> <li>・フィールドスタディプログラム造成委託料 6,000千円</li> <li>○釜石オープン・フィールド・カレッジプロモーション事業 5,500千円</li> <li>・釜石オープン・フィールド・カレッジプロモーション委託料 5,500千円</li> </ul>			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数（+15人）</li> <li>②「フィールドスタディプログラム」を活用しながら釜石で活動する人の数（+60人）</li> <li>③プラットフォーム登録者数（+300人）</li> <li>④再訪希望者数（+270人）</li> </ul>		関連URL	※調整中

※経費内訳はR7年度事業費


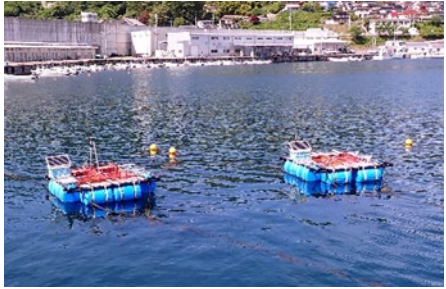
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【釜石産農畜産物PR事業】

申請者	岩手県釜石市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	15,900千円 (5,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当市ならではの農畜産物を広くPRし、販路拡大から生産拡大、農畜産業者の所得向上へ繋ぐ。</li> <li>・当市ならではの農畜産物を広くPRし、交流人口増、担い手確保等へ繋ぐ。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 釜石産農畜産物として、農作物（甲子柿、すずこま等の農産物及び鶏肉等の畜産物）のPRを行うもの。 釜石産農畜産物の認知度向上や需要拡大が図られることで、農業者の生産意欲や所得向上に繋がるとともに、高付加価値化農産物を取り入れた営農スタイルの構築や、担い手の確保に繋がると考える。また、当市の気象の優位点や震災後完成した三陸道活用によるアクセスのしやすさ等をPRすることで事業拡大が見込まれる。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市内産農畜産物PR媒体作成事業 2,100千円 ・制作等経費(計2,100千円/印刷製本費500千円等)</li> <li>○市内産農畜産物PRイベント実施事業 1,100千円 ・イベント関連経費(計1,100千円/需用費300千円等)</li> <li>○市内産農畜産物認知度向上事業 2,000千円 ・PR経費(計2,000千円)</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>市内企業と共同で地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、生産組合や地域内での連携を促進する。 定期的な販売会のイベントを開催し、利用者の増加等につなげるとともに、生産組合や企業と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規就労者数（農畜産業関係）（+3名）</li> <li>②イベント開催回数（+12回）</li> <li>③販路開拓数（+4か所）</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【新たな水産資源を活用した地域活性化事業】

申請者	岩手県釜石市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,990千円 (12,330千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>釜石市で行われているサクラマスの養殖は、令和4年度10月の事業化後、生産量は順調に推移しているものの、養殖事業者は1事業者のみである。種苗提供など、養殖生産に新規参入しやすい環境づくりと、市内外の認知度向上、流通・消費拡大のための仕組み作り、プロモーションを強化し、サクラマスによる地域活性化を図る。</li> <li>磯焼け対策として駆除したウコを利用した産業化のモデルを構築し、漁業者をはじめとする地域全体の収益性の向上を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 サクラマスの養殖生産の新規参入しやすい環境づくりや認知度向上や流通・消費拡大のための仕組み作り、プロモーション強化の取組みを行う。磯焼け対策として駆除したウコを利用した産業化モデルの構築を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サクラマスに関する事業 11,330千円</li> <li>・フォーラム開催経費 322千円</li> <li>・サクラマスフェアの開催 2,008千円</li> <li>・種苗開発費負担金 8,000千円</li> <li>・近隣他地域サーモン類生産地と連携した「サクラマストレイン」の実施 500千円</li> <li>・サクラマス協議会負担金：500千円</li> <li>○ウコの畜養に関する事業 1,000千円</li> <li>・畜養実施事業者への補助金 1,000千円</li> </ul>				 	
地域の多様な 主体の参画	<p>産学官金労で連携し、サクラマスのプロモーション活動やプロモーション強化のための組織づくりに取り組み、サクラマスによる地域活性化を図る。</p> <p>産学官労で連携し、畜養ウコの育成方法の研究や検証を行いながら、需要のあるウコへの飼育方法を確立し、流通、販路ルートの拡大につなげ漁業者等の収益性の向上を図る。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①釜石市魚市場水揚高 (+44百万円)</li> <li>②漁業所得金額 (+285千円)</li> <li>③養殖サクラマス水揚量 (+55トン)</li> <li>④釜石産サクラマス取扱事業者数 (+6件)</li> <li>⑤畜養ウコ販売個数 (+3,000個)</li> <li>⑥畜養ウコ取扱事業者数 (+15件)</li> </ul>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口創出事業】

申請者	岩手県釜石市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	28,270千円 (7,270千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像『歴史文化をいかし未来をつくるまち 釜石』の実現に向けた環境づくりを行う。</li> <li>・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化の潜在的ポテンシャルの見える化を図る。</li> <li>・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化より多くの人々の目に常に触れられる仕組みの向上を図る。</li> <li>・釜石の歴史文化や郷土芸能、食文化の魅力を発信し、釜石ファンの醸成を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 釜石市の歴史文化を切り口に、その魅力を再発見するとともに、郷土芸能や食文化を中心に据えた取組を行うことで、幅広いプロモーションの実現を図り、地域の活性化と関係人口の創出につなげていく。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○かまいし歴史文化活用プロジェクトの実施 5,778千円 ・かまいしの魅力再発見（計683千円/報償費240千円等） ・かまいしの魅力発見講演会（計438千円/報償費60千円等） ・かまいし歴史文化コンテンツ作成（計1,508千円/需用費1,232千円等） ・かまいし歴史文化プロモーション総合（計3,149千円/人件費3,059千円等） ○みんなで伝える郷土芸能トライアル 1,200千円 ・郷土芸能体験教室の開催（計459千円/報償費300千円等） ・郷土芸能映像記録保存の実施（計741千円/報償費300千円等） ・郷土芸能コンテンツ作成（R8～9実施） ○かまいしの食文化はっけん事業 292千円 ・食文化座談会 90千円 ・食文化講演会（計202千円/報償費30千円,旅費30千円等）</p>				       	
地域の多様な 主体の参画	<p>観光振興関連事業者と積極的な意見交換を行い、観光資産として利用可能な食文化、郷土芸能、祭り等を活かした関係人口の創出を図る。 大学等の専門的知見から、釜石特有の魅力について意見交換を行い、積極的な歴史文化の魅力発信と、利用者に対して難しい情報をより優しく魅力的に伝え、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>①つながり人口創出数（目標値1,632人）</li> <li>②観光客全体入込数（目標値102千人）</li> <li>③歴史文化関連施設入込数（目標値897人）</li> <li>④歴史文化を目的とした観光全体入込数の割合（目標値2.64%）</li> <li>⑤郷土芸能活動団体数（目標値0団体）</li> <li>⑥講演会・座談会参加者数（目標値220人）</li> </ol>

※経費内訳はR7年度事業費


※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【つながり人口の創出による地域共創ネットワーク構築事業】

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	118,050千円 (55,090千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーケーションの推進及び地域共創ネットワークの構築により、つながり人口の増加を図る。</li> <li>・地域共創プログラムの造成及びブランディングによる釜石ならではの学びを提供するほか、データ分析によるつながり人口の可視化及びワーカーの市内周遊観光を促進し、ワーケーションによる来訪者の増加を目指す。</li> <li>・テレワーク環境を整備することによるワーケーション促進及び滞在日数増加による市内消費額の増加を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 テレワーク施設を活用し、あわせて効果的なプロモーションの実施や市内企業や地域に継続的にかかわることができる地域創生プログラムの開発・提供を実施。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域共創ネットワークの高度化に向けた体制強化事業 7,900千円</li> <li>・釜石ワーケーション・地域共創ネットワークコンセプト作成 1,000千円</li> <li>・地域共創ネットワークの高度化に向けた体制強化事業(計6,900千円/コーディネーター配置等4,000千円等)</li> <li>○つながり人口モニタリング・周遊高度化事業 10,590千円</li> <li>・つながり人口データ収集・分析 1,500千円</li> <li>・混雑状況調査経費(計6,650千円/AIシステム導入等1,760千円等)</li> <li>・混雑状況調査システム利用料(計2,440千円/システム使用料等360千円等)</li> <li>○ワーケーション・地域共創プログラム造成事業 5,000千円</li> <li>・ワーケーションプログラム開発費 3,000千円</li> <li>・地域共創イベント開催費 2,000千円</li> <li>○釜石ワーケーションプロモーション事業 11,600千円</li> <li>・オープニングプロモーション費(計3,800千円/シンポジウム等イベント開催経費等2,000千円等)</li> <li>○テレワーク環境整備備品購入支援事業 20,000千円</li> <li>・オフィス家具・什器購入支援 15,000千円</li> <li>・オンライン会議システム等機能強化備品の購入支援 5,000千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>かまいしDMCを推進主体とし、ワーケーションの実施や地域共創ネットワークの体制構築を行う。商工会議所や産業育成センター、市内人材開発事業者等と連携し、首都圏企業・ワーケーション利用者と市内企業者とのビジネスマッチングや住民との交流の機会を設け、利用者の増加を図る。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①つながり人口創出数 (+1,632人)</li> <li>②交付対象事業を通じて獲得したワーケーション利用者数 (+105人)</li> <li>③ワーケーションで市内を訪れたワーカーの直接消費額 (+5,787千円)</li> <li>④交付対象事業を通じて生み出された地域共創プロジェクト数 (+4件)</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【地域経済基盤強化事業】

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,434千円 (15,478千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自社が抱える経営課題への主体性を身に付けた人材の育成を図り、経営課題の解決や売り上げ増に向けた新規プロジェクトの創出を支援することで、地域経済の基盤である中小事業者の維持・発展に寄与する。</li> <li>• 起業塾や自営型のテレワーカーの育成を通して、市民のキャリアチェンジ・スキル取得を促し、起業・創業を支援することで、事業者の増加を図り、地域経済の次世代を担うプレイヤーの創出と個人所得の向上に寄与する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 3つのソフト事業を通して、挑戦・行動意欲を持つ人材の掘り起こしと育成を進める。売り上げの増加に向け、マーケティングを中心とした研修を経営及び中核人材を対象に実施する。また、新たな事業者の創出を目指す、起業塾及び自営型のテレワーカーを育成する講座を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域企業経営力向上事業 8,538千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営人材育成塾開催及び伴走支援経費(計5,500千円/講師謝礼金3,900千円等)</li> <li>・起業向け人材戦略セミナープログラム開催経費(3,013千円/講師謝礼金等360千円等)</li> <li>・消耗品費 5千円</li> <li>・使用料及び賃貸料 20千円</li> </ul> </li> <li>○起業挑戦サポート事業 3,920千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業挑戦サポート事業業務委託経費(計2,600千円/講師謝礼金等800千円等)</li> <li>・事業継承コーディネーター業務委託経費(計1,320千円/講師謝礼金等100千円等)</li> </ul> </li> <li>○自立型テレワーカー育成事業 3,020千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立型テレワーカー育成業務委託経費(計2,959千円/講師料等600千円等)</li> <li>・使用料及び賃貸料(計61千円/フリーwifi賃貸料等16千円等)</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>						
地域の多様な 主体の参画	釜石商工会議所及び市内金融機関、釜石・大槌地域産業育成センター等との連携を図り、市内企業の経営課題等を把握し、研修と併せて、必要な助言及びよろず相談等をはじめとした専門家マッチング等による中長期的な伴走支援等を実施する。また、事業者の新プロジェクトや起業・創業において、より高度で専門的な技術相談対応等が発生した場合は市が積極的に仲介し、県内大学との連携を創出する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市内企業の新規プロジェクト及び起業数(+30件)</li> <li>②既存事業者の研修参加者数(+30件)</li> <li>③市民等の研修参加者数(+180件)</li> </ul>


# 事業概要【世界遺産・三陸ジオパーク・みちのく潮風トレイル等を活用した持続可能な観光地域づくり推進事業】

申請者	岩手県釜石市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	108,034千円 (22,900千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力を引き出す商品を造成・販売することで地域の「稼ぐ力」を高めるとともに、域内消費や地域調達率を上げ地域経済の活性化を目指す。併せて、新たな観光計画の策定をすることで、より具体的な取組を実施し誘客促進と観光消費額の増加を図る。</li> <li>施設を誘客事業や情報発信の拠点としてイベント等の事業を行うことにより、賑わい創出を図る。また、施設内にて特産品等を販売することで観光消費額の増大を図る。この取組を推進するため、物産センターの改修等を図り、施設の耐久性・利便性を強化するとともに施設の長寿命化を図り、観光客等が安心して利用できる施設にする。</li> <li>自然や環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進するにあたり、みちのく潮風トレイル及び三陸ジオパーク、世界遺産などを活用した釜石ならではの学びや遊びを提供する場として拠点施設等の整備を行い、市民及び来訪者への理解増進と愛着の醸成を図るとともに、外国人観光客の誘客につなげる。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 自然資源を活用した誘客促進、特産品の開発と地域独自のブランド化による魅力化を図るとともに、シンポジウム開催による釜石の観光ストーリーの価値の深化、観光拠点施設等の整備による新たな事業の展開、国内外からの誘客促進による来訪者の増加に寄与する。</p> <p>以上の施策と効果を体系的かつ有効に実施し、今までよりも高次の観光ビジョンの策定やEBPMに基づく効果的な観光プロモーションを展開する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光地域づくり推進事業 15,300千円</li> <li>・持続可能な観光地域づくりにかかるマーケティング調査(計2,900千円/観光施策効果測定調査費等400千円等)</li> <li>・みちのく潮風トレイル等を活用した誘客促進事業(計4,300千円/プロモーション制作3,000千円等)</li> <li>・インバウンド対応看板設置 3,100千円</li> <li>・釜石特産品セレクション事業 2,000千円</li> <li>・釜石物産センターを活用した新規イベント 3,000千円</li> <li>○釜石物産センター改修調査事業 7,600千円</li> <li>・釜石物産センター改修調査 7,600千円</li> </ul>					 <p>釜石物産センター</p>  <p>潮風トレイルウォーク</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>各種事業実施に向け、地域DMOである(株)かまいしDMC、(一社)釜石観光物産協会、釜石観光ガイド会、釜石市国際大学校や民間事業者等のほか、国・県、トレイル・ジオパーク関連団体等と連携して推進体制を構築し、持続可能な観光地域づくりに取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市内における観光消費額 (+6億円)</li> <li>②観光客入込数 (+102千人)</li> <li>③外国人観光客入込数 (+500人)</li> <li>④体験プログラム新規造成数 (+9個)</li> <li>⑤体験プログラム新規造成参加者数 (+100人)</li> <li>⑥つながり人口創出数 (+1,632人)</li> </ul>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【遠隔診療・見守りDX基盤の構築による持続可能な地域づくり事業】

旧制度（推進）


申請者	岩手県八幡平市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	171,200千円 (33,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販の安価なデバイスで、遠隔での診療と見守りを同時に実現可能な基盤を構築する</li> <li>・AI・ICT人材を育成し、プロジェクトの担い手として参画させる</li> <li>・地域に医療福祉×テクノロジーを核とした事業の集積地「メディテックバレー」を創出する</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○遠隔診療・見守りハイブリッドDX基盤の社会実装 18,120千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔診療基盤システム構築</li> <li>・遠隔見守り基盤システム構築</li> <li>・地域実装普及啓発</li> <li>・視察受け入れ・コンサルティングプログラム</li> <li>・疾病予測AIの実証</li> <li>・携帯電話圏外における深化実証</li> </ul> <p>○ICT等人材育成 15,180千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング技術等講習</li> <li>・周知広報活動</li> </ul>		
KPI	<p>①遠隔診療によって医療アクセスを確保することができた患者数 (+500人)</p> <p>②遠隔で無事に見守ることができた参加者の割合 (+95%)</p> <p>③育成したICT人材からプロジェクトに参画した数 (+14人)</p>	関連URL	<a href="https://8mv.biz/">https://8mv.biz/</a>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【大更駅前賑わい創出拠点整備事業】

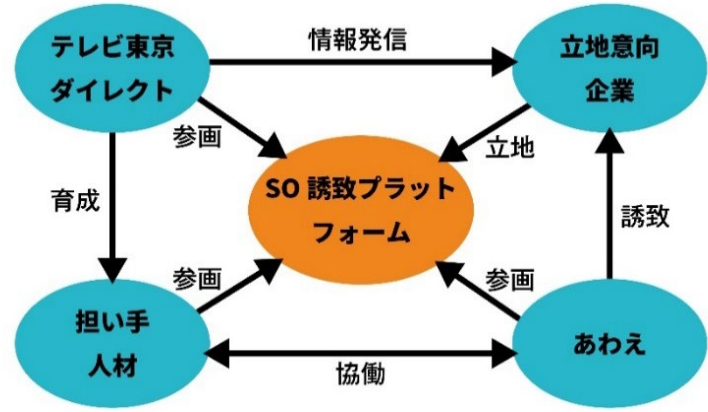
旧制度（拠点）

申請者	岩手県八幡平市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,000,000千円（750,000千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	大更駅前にシェアオフィス、コワーキングスペース、一時預かり施設、子育て支援等の機能を持った複合施設を整備し、子育て世代の多様な働き方に対応するとともに、不安を抱える保護者が互いに悩みを共有することのできる子育て世代の交流の場を整備することで交流人口・関係人口の増加を促し、移住・定住の促進を図る。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>コワーキングスペース、移住定住センター、屋内公園、一時預かり施設機能を有した複合施設を整備し、子どもたちが季節・天候に左右されない屋内遊び場を設けるとともに、デジタル社会の形成に寄与するため、①館内に高速Wi-Fi環境を整備することによるコワーキングスペース・テレワーク拠点としての機能、②施設の混雑状況のインターネット配信、③デジタルサイネージを活用した観光情報・イベント情報・公共交通機関の時刻表掲示を行い、交流人口・関係人口の増加を図る。</p> <p>○施設整備等 【建築物本体工事】 建築工事費 480,000円 【建築物と不可分な設備】 電気設備工事費 107,000千円、機械設備工事費151,000千円、昇降機設備工事費6,000千円、外構工事費6,000千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域へのUIターン数（+135人/年） ②施設の利用者数（+30,000人/年） ③JR花輪線大更駅1日当たり乗車人員（+180人/日） ④20-40代のうち子育てしやすいと回答した割合（+18%）</p>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>


事業概要【地方と首都圏を結ぶサテライトオフィス誘致プラットフォーム構築による地域活性化事業】

旧制度（推進）

申請者	岩手県八幡平市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	51,425千円 (16,885千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィス誘致による人口動態の改善と関係人口を創出する</li> <li>・新産業の集積地としての地位を確立する</li> <li>・地域課題解決の枠組みから新ビジネスが生まれる基盤を構築する</li> <li>・担い手人材の育成によるプラットフォームを自走させる</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○サテライトオフィス誘致支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチング支援（委託料）1,815千円</li> <li>・誘致実務支援（委託料）1,870千円</li> </ul> <p>○メディア活用及び人材育成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度向上対策（委託料）9,900千円</li> <li>・人材育成（委託料）3,300千円</li> </ul>		
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における新規雇用者数（+3人）</li> <li>②本事業によって誘致したサテライトオフィスの立地件数（+4社）</li> <li>③育成したプラットフォーム人材によるメディア活用施策数（+6件）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>



# 事業概要【“日出る伊手”づくりプロジェクト～旧小学校を活用した小さな拠点づくり～】

申請者	岩手県奥州市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	300,827千円 (300,827千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	人口減少・高齢化が著しい中山間地域の旧小学校を、グリーンツーリズム等を受け入れる宿泊機能、テレワークやワーケーションが可能なコワーキングスペース、失われつつある地区の「漬物」や特産品製造のための加工場のほか、放課後児童クラブ、地区センター機能も付加した地区内・外交流の拠点として整備し、地区コミュニティ活動の増強と地区内における仕事・収入の確保及びそれに伴う交流人口の拡大を図る。					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 閉校となった旧小学校を宿泊・加工・学習・シェアオフィス等の機能を持った複合施設に整備し、農業の担い手やグリーンツーリズム等の宿泊受け入れによる関係人口の増加、地元農産物を使った新商品開発、オンライン学習室を活用した魅力的な教育コンテンツの提供等を推進するとともに、地区コミュニティ活動の拠点となる地区センターを併設することによって、地区内・外の交流を図りながら「賑わい」と「生業」を創出する。</p> <p>【拠点整備事業経費（交付対象事業経費）】 旧小学校を複合施設として再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物本体工事費 94,553千円</li> <li>・建築物と不可分な設備工事費 188,515千円</li> <li>・外構工事費 7,700千円</li> <li>・備品購入費 10,059千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>地元農協、商工団体、観光関連団体からの、加工品製造や体験型プログラムなど、事業推進に係る専門的な知見による意見・助言を基に、既存メニューの改善や体験型プログラムを含む新商品の開発に取り組む。また、地元CATVは、マスメディアの視点での意見・助言を行うとともに、CATV局間のネットワークを活かし、市内外へ情報を発信する。その他、地元振興会などを通じて地区住民の意見を吸い上げ、事業内容に反映させながら、イベントの企画・運営について協働で取り組む。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>① 転出抑制率（+0.5%） ② 施設利用者数（+569人） ③ 地元事業所等雇用者及び利用者数（+20人） ④ 売上額（+8,000千円）</p>

# 事業概要【奥州湖周辺エリア活用プロジェクト～奥州湖交流館を核としたアウトドアツーリズムの推進～】

申請者	岩手県奥州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	330,969千円 (330,969千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	奥州湖周辺エリアのアクティビティを含めた観光情報発信、トレーニングセンター機能も付加した、アウトドアツーリズムの拠点施設として整備し、アウトドアアクティビティを展開するための人づくり、なりわいづくりを進め、アウトドアツーリズムを推進するとともに、市内宿泊施設と連携したカヌーをはじめとする合宿誘致を進め、カヌーのまちづくりのブランディング強化を図り、もって交流人口の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 奥州湖周辺エリアのアクティビティを含めた観光情報発信、トレーニングセンター機能も付加した、アウトドアアクティビティ拠点として、レクチャールーム、トレーニングルーム、更衣室、シャワー室等を整備するとともに、本プロジェクトの推進体制を構築し、アウトドアツーリズムの包括的窓口機能の設立、施設運営を含めた店舗運営、体験メニューの情報提供など、河川空間のオープン化を視野に入れながら、コロナ禍から回復している国内旅行、インバウンドの誘客促進を図り、奥州湖周辺の「にぎわい」づくり、若者の「なりわい」づくりを目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 奥州湖交流館を再整備 ・既存施設改修工事費等 91,373千円 ・建築物と不可分な設備工事費 201,318千円 ・備品購入費 38,278千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地元経済団体、観光関連団体から、体験型プログラムや持続可能な運営体制など、事業推進に係る専門的な知見による意見・助言を基に、既存メニューの改善や体験型プログラムを含む新メニューの開発、持続可能な運営体制の構築に向けて取り組むとともに、観光資源のプロモーションを通じて、地域ブランドの強化や地域経済の活性化に取り組む。また、地元振興会や協働のまちづくりアカデミーなど地域住民の意見を吸い上げ、事業内容に反映させるとともに、イベントの企画・運営について、協働で取り組む。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域における観光関連産業売上高 (+6,050万円) ②奥州湖交流館来館者数 (+890人) ③アクティビティ提供数 (+4種類) ④新規合宿誘致数 (+9件)</p>


# 事業概要【大学及びIT企業集積基盤を活用した人材育成事業】

申請者	岩手県滝沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	33,807千円 (11,137千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本市には2つの大学の立地と約30社集積しているIT関連企業を軸に、この環境基盤を活かしながら、若い人材の活躍と、IT技術を活用した地場企業の発展を目的とする。それにより、地域課題解決や地域の人材確保に加え、主体性をもち、率先した行動をすることが出来る人材の育成へと繋げるもの。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 上記の「目的・効果」達成のため、以下の3つの事業を実施する。</p> <p>①学生人材育成事業 市内で活動する学生に対し「0」を「1」にする伴走型人材育成。</p> <p>②若者チャレンジプロジェクト支援事業 社会参加活動へチャレンジする若者に対し、活動に係る経費の補助。</p> <p>③IT人材育成モデル構築事業 地域中小企業の課題解決のため、IT産業人材育成事業を実施。</p> <p>【ソフト事業経費】 ①委託料 5,545千円 ②補助金 1,500千円 ③委託料 4,092千円</p>					<p>大学 → 若者 → 若者の定着</p> <p>IT企業群 → 企業 → 地場企業の発展</p> <p>連携交流</p>	
地域の多様な 主体の参画	地域の学生との交流プラットフォームを構築している企業、および市内の多くのIT企業が参画しているNPO法人を中心に、大学、企業、市商工会および市が伴走していく事業を推進する。					KPI	<p>①20歳～29歳人口減少率（前年比）（+3%）</p> <p>②チャレンジプロジェクト参加者数（+25人）</p> <p>③小規模事業者持続化補助金採択件数（+9件）</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【スポーツとアウトドアを核とした交流人口拡大による地域活性化プロジェクト】

申請者	岩手県雫石町				初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	214,634千円 (140,868千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツやアウトドアを核とした交流人口拡大のための拠点づくり</li> <li>・鶯宿温泉スポーツ拠点エリアを活用したスポーツ合宿や健康づくりに取り組み活性化を図る</li> <li>・アウトドア・アクティビティエリアのコミュニティエリアを活性化させ、賑わい創出と観光振興を図る</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 小学校の統合により未利用となっていた小学校跡地を周辺地域における拠点と位置づけ、スポーツの有用性を活かした健康な地域コミュニティの構築や、観光メニューの拡充による誘客促進や観光資源の発掘と環境整備を展開することで、地域住民が健康で賑わうまちを創出するとともに、交流人口の創出及び拡大を図り、町内観光旅行消費額の増加を目指す。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鶯宿温泉スポーツ拠点エリア活性化事業</li> <li>・スポーツエリア推進事業に係る経費（人件費）4,000千円</li> <li>・エリアプロモーション費用（委託料）11,600千円</li> <li>・健康づくり・スポーツイベント開催費用 12,000千円</li> <li>○アウトドアアクティビティとコミュニティエリア活性化事業</li> <li>・アウトドアアクティビティ研究費用（委託料等）3,100千円</li> <li>・誘客イベント開催費用（委託料）32,000千円</li> <li>・アウトドアエリアプロモーション費用 8,800千円</li> <li>○アウトドア関連企業フレンドショップ出店に係る道の駅物産館改修費</li> <li>・事業費 23,000千円</li> <li>○旧校舎拠点化改修</li> <li>・事業費 46,368千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>地域住民及び事業者で構成する研究会を通して、多様な意見を吸い上げることで、事業内容の充実を図る。</p> <p>観光事業者及び商工会を通じて、ニーズや人材に関する情報を収集するとともに、イベントの企画・実施等の面で連携して取り組む。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光旅行消費額（+8億8,261万8千円）</li> <li>②県外からの観光客数（+5万6,000人）</li> <li>③観光宿泊者数（+3万人）</li> </ul>

# 事業概要【ローカルSDG s の実現に向けた岩手町版スタートアップエコシステム形成事業】

申請者	岩手県岩手町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	71,908千円 (32,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>町外からの起業検討者・第2創業検討ベンチャー企業を呼び込みながら、町民と呼び込んだ関係人口、行政が一体となって共創型創業に取り組む、ローカルスタートアップの育成環境を整備する。</p> <p>そして、起業を志す町内外の若者から「選ばれる町」へと進化することを目指し、その結果、新たなビジネスモデルや生産性の高い業務推進手法を持ったシゴトが創出され、町民の求める雇用機会が生まれる。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>事業主体となる地域商社の運営体制整備とともに、スタートアップの誘致・創出、起業環境の整備を図り、スタートアップの誘致・創出を量産的に実現する。</p> <p>○地域商社運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制整備におけるブランディング支援、事業検討のための事業可能性調査、専従スタッフ募集・採用・育成支援、地場産品ブランディング支援 (委託料) 18,000千円</li> </ul> <p>○起業支援によるスタートアップ誘致・創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部スタートアップ誘致支援、学生ゼミ起業誘致支援、ガバメントピッチ開催、起業創業施設連携伴走支援 (委託料) 10,000千円</li> </ul> <p>○起業・創業支援による地域内事業者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人起業家育成塾運営 (委託料) 4,000千円</li> </ul>					<p>スタートアップエコシステムの目指す未来像</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>町内事業者が、地域商社と連携し、商品開発を通じた収益基盤づくりを支える。</p> <p>町内教育機関が、町内の課題の洗い出しと解決に向けた取組を提言、実施し、また、町外教育機関が、学生起業プロジェクトへ参画、町内で起業する。</p> <p>町内金融機関が、事業者の組織化、起業に関するプロジェクトの伴走支援。</p> <p>地域おこし協力隊が、町内ステークホルダーとの協働する関係性の構築を図る。</p>					KPI	<p>①スタートアップ誘致創出数 (+6社)</p> <p>②誘致創出したスタートアップが採用した雇用数 (+14人)</p> <p>③スタートアップ誘致に向けて町内視察する起業家及び起業団体数 (+28人・社)</p> <p>④誘致創出したスタートアップと既存事業者とのビジネスマッチング成立数 (+5件)</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【地域資源を活かした農村価値向上と人材育成によるまちづくり事業】 旧制度(拠点)

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	岩手県紫波町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	902,920千円 (363,769千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	体験農園や園内通路、エリア内の修景機能をもつ園庭（ノウルガーデン）の整備、町内の特産物等の利用したレストラン等やマーケット機能、温浴施設等の魅力向上施設の整備、お試し住宅の整備により、若者にとって魅力あるまちづくりと移住・定住を実現するための施設として利活用を図る。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>校舎を農業等の体験施設などを備えた複合施設として改修し、また校庭に魅力向上施設や体験農園等を備えた機能を整備し、地元の若者や町内外の希望者向けに農業体験等を実施する「地方創生アカデミー事業」を施設で行うことにより、産業振興とともに人材の育成、定住促進を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容                  【魅力向上施設整備】 整備補助金 71,169千円                  【お試し住宅整備】 整備補助金 126,500千円                  【ノウルセンター整備】 改修設計委託費 14,300千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容                  【ノウルガーデン整備】 造成等工事負担金 150,232千円</p> <p>○効果促進事業（ソフト事業）の内容                  【備品類購入費用】 1,568千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた新規雇用者数（+8人） ②地区の転入出者数（+54人） ③ノウルガーデン利用者数（+7,100人） ④地元事業者の関連事業者数（+11人）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） <a href="https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4_1/2_13_machihitoshigoto/762.html/">https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4_1/2_13_machihitoshigoto/762.html/</a>

# 事業概要【紫波町温泉保養公園を核としたあづまねエリアブランディング推進事業】 旧制度（推進）

申請者	岩手県紫波町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,445千円 (5,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町を代表する観光資源である東根山とその麓の温泉保養公園の魅力を最大限に引き出すためのブランディングに取り組む。</li> <li>・アウトドアアクティビティやサウナなどに関する社会実験事業の実施や関連企業のマッチングを行う。</li> <li>・商品開発などの新規事業開発に取り組みアフターコロナ時代を見据えたビジネスモデルの転換を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○温泉保養公園再整備事業基本構想策定業務委託 5,500千円</p> <p>【事業概要】 令和6年度に策定したあづまねエリアブランディングビジョンに基づき、温泉保養公園が担うべき役割と目指すべき方向性を明確化させるとともに、民間事業者の新しい体制構築に向けた準備を進める。</p> <p>【想定する事業内容】 温泉保養公園再整備の事業規模及びスケジュールの決定、整備手法の選定、募集要項の作成 など</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ラ・フランス温泉(株)の従業員数 (+2人)</li> <li>②ラ・フランス温泉(株)の年間売上高 (+6,000千円)</li> <li>③あづまねエリアに立地する主な観光施設の年間交流人口 (+6,000人)</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) <a href="https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4_1/2_13_machihitoshigoto/762.html/">https://www.town.shiwa.iwate.jp/soshiki/4_1/2_13_machihitoshigoto/762.html/</a></p>

# 事業概要【Re:公民連携プロジェクト】

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	12,000千円 (4,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民連携事業により得られた地方創生推進に係る効果を検証し、今後展開する事業へとつなげる</li> <li>・オガールプロジェクトの核施設である「オガールプラザ」の、デジタル技術を活用したリニューアルに向けて調査・設計を行う</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民連携を振り返り、未来を考えるシンポジウム・講演会等の開催 250千円</li> <li>・公民連携検証・検討委員会の開催に関する経費 旅費及び委員謝金 450千円</li> <li>・「紫波町公民連携白書」作成（出版）に係る経費（委託料）800千円</li> <li>・オガールプラザ状況調査及びリニューアルプラン検討事業（委託料）3,000千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>オガールプラザの所有・運営主体や公民連携に関する連携協定を締結している大学とともに検討を進め、提言をいただくほか、検証・検討委員として改善方策を示していただくほか、公民連携白書の作成について助言をいただく。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①紫波町情報交流館の来館者数（+97,000人）</li> <li>②オガールプロジェクト等に関連する紫波町への有料視察件数（+68件）</li> <li>③オガールエリア内の来場者数（+184,000人）</li> </ul>


# 事業概要【旧紫波郡役所活用交流施設整備事業】

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	104,126千円 (104,126千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	県指定文化財「旧紫波郡役所庁舎」を改修し、文化交流施設の機能を新たに設ける。具体的には、コワーキングスペース、歴史・文化発信ギャラリー、市民交流ステージ、飲食物販店舗を備える施設とする。						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>コワーキングスペース、歴史・文化発信ギャラリー、市民交流スペース、飲食物販店舗を備える施設とする。建物内はWi-Fiを整備し、コワーキングスペースの利用者や一般利用者のみならず、デジタル技術を活用した歴史・文化の発信に取り組む。</p> <p>【建築物本体工事】 73,306千円                  【建築物と不可分な設備工事】22,954千円                  【合計】 96,260千円                  (うち、交付対象事業経費 96,260千円)</p> <p>【設備整備・用地造成】 3,654千円 (外構工事)                  ・交流広場整備工事 3,654千円</p> <p>【備品購入費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史・文化デジタルアーカイブに係る備品・・・1,717千円</li> <li>● 施設の運営に係る備品・・・2,495千円</li> </ul> <p>合計 4,212千円                  【合計】 104,126千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>指定管理を見込んでいる事業者との定期的な運営・管理協議により施設が適切かつ効果的に使用されるよう意見交換を行う。また、隣接した商店街と連携し、施設と一体感のあるイベント開催等を行う。</p> <p>加えて、歴史的建造物の保全と活用に関する専門家との連携により、適切な修理改修を進めるほか、文化財としての価値を発信する方策についての意見を事業に反映する。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数 (+32世帯) ②旧紫波郡役所来訪者 (+15,000人) ③消費が発生するイベント日数 (+48日)

# 事業概要【バレーボールを活用した暮らし心地向上事業】

申請者	岩手県紫波町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	174,612千円 (52,954千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・民間事業者が持つバレーボールの強力なネットワークや企画力を活用してバレーボールナショナルチームの合宿を誘致。合宿期間中には県内市町村を会場に国際エキシビジョンマッチや子どもたちとの交流など開催して、町民だけでなく県民にも非日常（ワクワク）の機会を提供。県内での当町の更なる認知度向上と、開催市町村の交流人口の拡大や地場製品の販売促進というWin-Winの取組を展開する。県内市町村と連携しながら「岩手に住んでよかった」「岩手に住み続けたい」といった地元への愛着を醸成する。</p> <p>・地元社会人クラブチームを核とした事業の展開や地域コミュニティづくりによって子どもや地域住民の第三者の居場所作りを目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】（実施主体は実行委員会）</p> <p>○実行委員会運営費負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務経費 17,182千円 ・情報発信業務経費 920千円</li> </ul> <p>○大会開催負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会スタッフ謝金、旅費 7,370千円</li> <li>・大会消耗品費 550千円 ・イベント保険料 60千円</li> <li>・代表戦開催負担金 7,600千円</li> <li>・会場設営業務委託料 8,230千円</li> <li>・会場、車両使用料 6,642千円</li> </ul> <p>○地域コミュニティ開発・人材育成プログラム事業負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業委託料 3,300千円</li> </ul> <p>○スポーツマーケティング事業負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業委託料 1,100千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>スポーツ関連事業を行う地元の民間事業者やバレーボール協会などと実行委員会を組成して、公民連携で事業を推進していく。</p> <p>国際エキシビジョンマッチにおける会場提供や周知に県内市町村の協力を得ながら、自治体間連携で県民の暮らし心地向上を図っていく。</p> <p>大会開催においては、地元の大学や高校にも協力をいただき、若者の意見や活力を反映させながら取り組んでいく。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①町人口の社会増（+30人）</p> <p>②スポーツイベントの来場者数 (+2,700人)</p> <p>③スポーツイベントの開催回数（+2回）</p>

# 事業概要【船越家族旅行村・観光拠点整備事業】

申請者	岩手県山田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	116,438千円 (8,338千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	船越半島の入口である船越家族旅行村を拠点施設として整備し、利便性や安全性の向上を図るとともに、観光客入込数の回復、交流人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>(1) オートキャンプ場再開に向けた整備 船越家族旅行村オートキャンプ場は令和元年東日本台風で被災しており、営業再開できない状況となっている。営業再開のため、近接するものの、被災しなかった多目的広場にサニタリーハウスの整備及びキャンプ場電源及び照明設備を整備し、安全性を確保したうえで、みちのく潮風トレイル等の船越半島のアウトドアの拠点とする。</p> <p>(2) サニタリーハウス跡地の整備 令和元年東日本台風で被災したサニタリーハウスを解体し、その跡地を活用してオートキャンプ場を含めた船越家族旅行村の利用者の憩いの場として整備することで、利用者の満足度を高め、相乗効果を図る。※サニタリーハウス解体については交付対象外</p> <p>(3) 岩手朝日テレビを活用したPR 岩手朝日テレビでは令和3年4月から、お笑い芸人の「天津木村」をMCに迎え、土曜日の朝に「Go! Go! いわて」という番組を放送している。MCの「天津木村」は本町のふるさと観光大使を務めていることから、当番組を活用してオートキャンプ場営業再開を広くPRし、再開後の早い段階から多くの来場者が訪れるよう取り組む。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○サニタリーハウス等実施設計等業務 8,338千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>近隣にある道の駅ふなこしと連携し、お互いの利用者へそれぞれの施設をPRし相乗効果を狙う。</p> <p>ジオパークやみちのく潮風トレイルなどの観光スポット、マリンスポーツ体験観光事業者と連携を図り船越家族旅行村への集客に取り組む。</p> <p>本町のふるさと観光大使である「天津木村」氏がMCを務める番組等でPRを行う。</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>(★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①年間観光入込客数 (+1万人)</p> <p>②年間宿泊者数 (+3千人)</p> <p>③観光消費額 (+2億8千円)</p>

# 事業概要【洋野町版DMOによる持続可能な観光地域づくり事業】

申請者	岩手県洋野町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	146,642千円 (45,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>観光による『稼ぐ力』を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光づくりを促進していくため、官民連携による新組織である「洋野町版DMO」を構築し、マーケティング調査・分析に基づいて、プロモーション活動や着地型観光ツアーの開発、ECサイトの構築等を実施し、地域の農漁業、商工業、サービス業等につながるの深い観光事業をさらに推進し、観光による持続可能な地域づくりを目指していく。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>(1) マーケティング・プロモーション業務（委託料） 30,000千円          専門人材を増員し、さらに精度の高いマーケティング調査・分析を行い、ロケツーリズムや雑誌等のメディアを活用したプロモーション活動を行う。</p> <p>(2) 着地型観光推進業務（委託料） 5,000千円          グリーンツーリズム及びブルーツーリズムなど、海と高原の恵みを活かした体験プログラムや着地型観光ツアーを実施する。</p> <p>(3) 地域商社事業（委託料） 5,000千円          ECサイト等により、町の観光物産品を一元的に販売するとともに、新商品開発に取り組む。</p> <p>(4) 写真スポット整備業務（委託料） 5,500千円</p>						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>洋野町版DMOの構築により、地域の農漁業、商工業、サービス業等との連携や、教育旅行や合宿誘致など、観光関連の宿泊、飲食業はもちろん、各地域のリーダーやキーパーソンとなる人材の発掘や地域おこし協力隊の活用などにより、観光客の受け入れ体制の整備やおもてなしのスキルアップを推進し、観光による持続可能な地域づくりに取り組む。</p>					KPI	<p>① 交流人口入込数(観光入込者数) (+350,000人)</p> <p>② 着地型旅行商品数 (+9本)</p> <p>③ SNS等への投稿回数 (+125件)</p> <p>④ 町観光協会ホームページアクセス件数 (+24,000件)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【オールHIRONOによるデジタルプロモーションを活用した地域課題解決事業】

申請者	岩手県洋野町				初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	51,500千円 (19,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	町に関係する全ての人材のデジタル技術の導入及び活用スキルアップを推進することで地域全体のITリテラシーの底上げや情報発信力の強化を図り、町の認知度の向上、地域経済の活性化や賑わい創出等にオールHIRONO体制で取り組み若い世代だけでなく地域住民全てにとって将来にわたり住み続けたい町の実現を目指す。					
事業概要・主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>(1) 地域資源等の認知度向上及び情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報ポータルサイトの運用改善・機能拡充（委託料）2,000千円</li> </ul> <p>(2) デジタル技術の導入及び活用スキルアップを図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT人材育成・確保セミナー開催（委託料）4,000千円</li> <li>・お試しウェブマスター派遣（委託料）8,000千円</li> <li>・町にぎわい創造交流施設ヒロノット活用促進（委託料）2,000千円</li> </ul> <p>(3) 地域産業の人材確保を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・お仕事相談イベント等出展（委託料）2,500千円</li> <li>・教育と連携した産業人材育成・確保対策（委託料）1,000千円</li> </ul>				<p>世の中の認知が広がる</p> <p>どんどん輪が広がって、世の中で地域内のコンテンツ占有率が上がる</p> <p>多くの個人がSNS映えする要素をたくさん見つけます</p> <p>見られるコンテンツが増える</p> <p>洋野町</p> <p>みんなで作る</p> <p>総数だけでなくTikTokなど膨大な素人の知恵の集積には敵わない！</p> <p>組織単位でも来訪者が増加する</p> <p>発信者を増やし、連携する仕組みが出来る</p> <p>視聴者だけでなくプラットフォームとして多くの共感を獲得</p>	
地域の多様な主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業や地域住民が主体的にITやデジタルに向き合う事業を展開し、全体の底上げを図ることで地域課題の解決を目指す。</li> <li>・県などが実施するデジタル化支援策の積極的な活用に向け、町と商工会が連携した周知を展開する。</li> <li>・教育現場と行政の中間的なポジションである教育コーディネーターと連携し、学校側との円滑な調整や事業実施に努める。</li> </ul>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①IT人材の育成・確保を実現するセミナーの参加人数（+230人）</li> <li>②デジタル技術の導入及び活用スキルアップを図る取り組みを通じてデジタル化に取り組んだ企業数（+60社）</li> <li>③事業を通じて移住に至った人数（産業人材含む）（+9人）</li> <li>④事業を通じて町内企業等に就職した人数（+35人）</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【ひろのワークスタイルイノベーション推進事業】

申請者	岩手県洋野町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	69,000千円 (20,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>新たな産業を生み出す起業支援強化や、職種の選択肢を増やすための企業・人材の誘致及び育成、多様な働き方やキャリア形成を支援するための学習機会の提供等を通じ、若年層や女性などが地域に誇りを持ちながら活躍する働き方及び、その活躍に多様な人々が惹きつけられ新たな産業や人材を生み出す持続可能な働き方「ひろのワークスタイル」の構築及び確立に取り組むことで人口減少の抑制を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p><b>【事業概要】</b> 若者への起業家精神教育、テレワーク推進による働き方改革や移住者獲得、起業家誘致と育成による地域活性化の3本柱で、本町における新しい働き方の確立による地域経済の活性化と人材育成による人口減少抑制に取り組む。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b> ○学生スタートアッププログラム推進事業 学生スタートアッププログラム推進業務委託料5,000千円 ○テレワーク導入・定着支援事業 テレワーク導入・定着支援業務委託料5,000千円 ○起業家創出プログラム運営事業 起業家創出プログラム運営業務委託料10,000千円</p>				<p>3つのプロジェクトで構成</p> <p>1 学生スタートアッププログラム推進事業 学生向け起業家精神教育プログラムの実施、ネットワーク構築、キャリア教育連携強化</p> <p>2 起業家創出プログラム運営事業 起業家誘致・育成のための環境整備、ビジネスマッチング、スタートアップロールモデル育成</p> <p>3 テレワーク導入・定着支援事業 テレワーク導入コンサルティング、ひろのテレワークモデル創出</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域内事業者、先輩起業家が、各種プログラムにおける講師等として参画し、情報交換等の場を設けて意見・改善提案の受付を行い、業務の最適化を図る。</p> <p>大学、町内教育機関に、各種プログラムにおける学生等への広報協力、人材育成協力、既存のキャリア教育との連携検討を担当してもらい、業務の最適化を図る。</p>				KPI	<p>①プログラム受講者から生まれた起業家数 (+15者)</p> <p>②プログラム受講者から生まれた新規事業創出件数 (+15件)</p> <p>③事業を通じた新規雇用者数 (+31人)</p> <p>④事業を通じたテレワーク導入事業者数 (個人事業主、副業・兼業者含む) (+25者)</p>
※経費内訳はR7年度事業費					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	